



令和元年度

ともに見つけ、
ともに創る子どもの未来

相模原市教育研究会 開催報告

令和元年8月20日（火）に、相模原市教育研究発表会を開催しました。

今年度から午後だけの半日開催とし、市民会館など周辺6会場で6分科会を行い、市民の方々、市立小・中学校の教職員、公民館、保育園、幼稚園、子ども園、高等学校、特別支援学校の職員など、1,020人の参加がありました。

すべての発表が子どもたちの健やかな成長をめざし、積極的に取り組まれた研究・研修の成果や、教育実践の報告でした。発表をもとに意見交換を行う中で、子どもの教育に取り組む様々な立場の方々が交流し合い、互いの役割や活動を理解し、連携を深める場、協力を広げる場となりました。



第1分科会 いきいきとした組織づくりの実践

効果的なOJTの具体的な方策に関わる研究	淵野辺小学校 平本 彰 相模川自然の村野外体験教室 中澤 美乃
校務分掌・学年分掌マネジメントの計画力向上を目的としたメンタリングシートの開発 ～メンタリングの実践を通して～	学校教育課 藤本 祐之

参加者の感想

○校種、世代、立場の違う先生方と同じテーマに基づいて情報交換、意見交流ができたことがよかったです。大変勉強になりました。

○同じ教員同士の関わりについて改めて考える機会となりました。人のためになることを考え実行していくことや、今までしてもらった嬉しかったことを他の人に返していくことなど、自分ができることがあると感じました。人から教わる姿勢を持ちながら、意識して他の人のお手本になる行動をしたいと思いました。

第2分科会 輝く子どもの姿をめざした授業づくり

子どもが夢中になって学び 子どもが学び合う楽しさがわかる授業づくり	清新小学校	小笠原 央 上野 竜一
国語の物語教材における、課題(問い)づくり	富士見小学校	鈴木 真樹
2030年の社会と子どもたちの未来	大沢中学校	高橋 正史

参加者の感想

- 国語の授業づくりの際に、どのようなことを意識して取り組んでいけばよいかというヒントやアイデアを学ぶことができました。
- 働き方改革において、教員としてエネルギーを注ぐ仕事と、少し力を抜いて取り組む仕事を、上手く区別しながら公務を見直し、子どものために貢献していきたいと感じました。

第3分科会 子どもの学びを広げる取組

これからのICTとの関わりと 「プログラミング教育」のあり方について ～Pepperを使った実践と草津市の取組を通して～	宮上小学校	江成 勝太
児童のプログラミング的思考力の育成 ～明星大学との共同研究～	向陽小学校	近藤 慎一郎 萬徳 雄太
ICT機器を効果的に活用した授業改善 ～緑が丘中学校での6年間の実践から学んだこと～	緑が丘中学校	本杉 新之介
上鶴間高校におけるICT利活用について	神奈川県立上鶴間高等学校	浅香 英一 生徒2名

参加者の感想

- 小・中・高のそれぞれの実践を聞いてよかったです。高校でのアプリを使った朝学習やノート提出についての発表は、興味深かったです。
- 各学校のICTを活用した授業のあり方を知ることができ、とても参考になりました。子どもたちの「知りたい」「分かってほしい」という思いを、できるだけ楽しく、興味を向上させながら体験させられるようにしたいと感じました。

第4分科会 子どもの可能性を広げる取組

いじめを未然防止するために ～いじめを理解し、組織で対応する～	清新小学校 高橋 誠
生徒の主体的な活動を育むために ～自己有用感の育成～	弥栄中学校 鈴木 雅哉
特別の教科 道徳の評価 ～子どもたちの良さを発見し、成長につなげるために～	淵野辺東小学校 高坂 千津
電子回路ペン体験講座プロジェクト	相模原市印刷広告協同組合 山本 博之 神奈川県中小企業団体中央会 内田 進
子どもたちが消費者として自覚し、 自立するために	消費生活総合センター 小泉 雄大

参加者の感想

- 学校現場では、懸命に取り組み、研修を重ねていることが理解できました。いじめにしても道徳にしても、学校だけの指導だけでは難しいと考えています。月並みですが、家庭・地域とどう共有できるかが大切だと感じました。ありがとうございました。
- 各発表のあとで、それぞれの学びや気づきを近くの参加者と伝え合うことができ、他の参加者の考えも知ることができてよかったです。

第5分科会 地域性をいかした子どもの育成

充実した交流及び共同学習のための取組	神奈川県立津久井養護学校 岡部 幸里 梶岩 千聖
よこやま秋の芸術祭 ～地域の学校と公民館の連携事業について～	横山公民館 石川 恭子 田本 奈津子
地域に学ぶ 「PTA共学体験」 ～ともに学び、ともに体験～	鵜野森中学校H30 学校と地域の 協働推進コーディネーター 瀬川 順子 野口 麻理
地域密着型 ～田舎PTAのイノベーション～	津久井中央小学校PTA 角田 健 角田 真哉 西園 直美 大矢 夕子 正木 江理加

参加者の感想

- 4つの発表に共通して「交流」「連携」という言葉がキーワードだったと思います。その学校の教員だけではなく、様々な経験・特技・考え方をを持った大人が協力することで、より深い学びが実現できると考えました。
- 地域で子どもたちの成長を見守り、関わることは、子どもたちの成長だけではなく、子どもたちの中に「地域」への愛着が芽生え、また地域も活性化されるもののだと感じました。

第6分科会

一人一人の育ちをつなげて見守る支援教育

園内研究 幼児理解に基づいた評価のあり方について	ふじの幼稚園 志村 清美 大塚 沙綾
小学校における校内支援体制を充実させる チーム支援体制づくり	相原小学校 三浦 貴隆
学校と共に、子ども・保護者を支援する スクールソーシャルワーカー	青少年相談センター スクールソーシャルワーカー 湊 岳美 山本 隼太 萬山 直子 岸 雅明
楢円球が教えてくれる事	三菱重工相模原ダイナボアーズ 竹花 耕太郎

参加者の感想

- 全ての発表が良かったです。幼・小・中・青少相・ダイナボアーズ(地域の企業)、各々の連携をいろいろな形で(このような市の研究発表会でも)行うことで、つながりが広がればよいな、と思います。
- 異なる立場の方々の発表を聞くことで、小学校における支援にしか目を向けていなかった私は、視野を広げる機会となりました。子どもの支援は、一生涯を通して行うため、幼稚園・小学校・中学校間の連携や関係機関、地域と連携していくことで、一貫した強力な支援が行えると思いました。

